

第3回海陽町行財政改革推進委員会会議 主な委員からの意見

令和4年2月21日(月)

19:00~20:15

海陽町役場海南庁舎

3階大会議室

1. 開会あいさつ

事務局より資料確認及び委員長より挨拶

2. 議事

(1) 第4次行財政改革プラン(案)について

事務局より、資料1・資料2を用いて第4次行財政改革プラン(案)の内容について説明

(意見交換)

委員 : 推進項目の「未収金対策強化」について、具体的にどのように取り組んでいくつもりか。

事務局 : 現在、未収金対策を行っているものの、町税、水道料金など未収金が発生している状況である。今後は、公正公平の観点から、強制力を持った回収事務手続きについて研究しているところであり、今後、法的措置がとれるような仕組み作りも重要であると認識している。

委員 : 今回の行革財政改革に掲げている3項目の数値目標について、是非とも目標達成に向けて努力してほしい。

海南保育所が定員75人に対して26人など利用率の低いものについては、今後、どのように運営していくべきか検討すべきである。海南病院その他の施設も同様である。経費削減も含めて考えていただきたい。

重要事項の漁火の経営改革の推進について、コロナがあるからお客が来ないのではなく、コロナがなくでもお客が来ないという危機感を持って、抜本的な改革をお願いしたい。海陽町は、まぜのおかを含めると3施設の宿泊施設を所有しているが、町村規模ではあまり例

がなく、今後も運営を維持していくのは困難だと考える。

委員 : 重要事項の特養のあり方の検討について、海南荘の入所率が低いことや財政状況の悪化を理由に施設の必要性を議論するのは、おかしいのではないか。今後、高齢化によって、特養のニーズは増加することが想定される。入所率が低いのは、海南荘の人員確保が難しいことが理由であって、施設の必要性が低いわけではない。

事務局 : 高齢化による担い手不足により、施設の人員が足りないために入所率が低い状況にある。今後、専門家の意見なども伺いながら、現状を整理し、民間活用を含めたあらゆる手段の中から、最適なあり方を検討していく。

委員 : いかに無駄を省き歳入を確保するかが重要である。
DMV を目玉にしたふるさと納税や、子育て支援の充実をアピールするような定住促進の取組みを進めてほしい。

委員 : 推進項目の受益者負担の適正化の検討について、受益者負担は必要であり、公共施設の適正な料金設定を行うためにも見直しの検討をお願いしたい。
ふるさと納税については、地元特産品の PR を積極的に行うべきである。

委員 : 海南荘については、今後、要介護者の住民が増加するため、廃止の方向性ではなく、他の公共施設を活用するなど、今後も継続していくための手法を考えてほしい。
これからの子ども達のためにも防災にもっと力を入れていくべきである。防災に強い町であれば移住にもつながる。「災害に強いまち」を発信できる施設のあり方を進めてほしい。
以前、保育園が統合された際、町は広く住民説明会を開催していたが、保護者からの反対意見が多く、統合が中々進まなかったと聞いている。一方で、子どもたちを見ると、統合によって新しい友達が増えて嬉しそうにしていた。このように、小中学校のあり方検討においても、保護者からは反対意見も出ると思うが、子どもの教育環境充実を一番に考えて検討してほしい。変えられる時に思い切って行動に移していただきたい。

委員 : 重要事項の小中学校のあり方検討について、子ども第一で検討を深めてほしい。

第2回委員会後、出張所が廃止になった場合の生活への影響について、高齢の母に感想を求めた。「出張所は廃止となってもよいが、必要な際に近所の人達と乗り合わせできるバスがあると嬉しい」と返答があった。出張所のあり方検討の際には、住民サービスが低下しないように留意いただきたい。

委員 : 分庁舎方式の不便さは、昔と比べてリモート会議などである程度解決が可能である。しかし、災害対応はそうはいかない。庁舎方式の検討には、災害拠点としての重要な役割があるため、今後整備される海部野根道路も含め、防災視点からも検討することが重要である。

委員 : 阿波市のスーパーが買物支援のバスを出している。高齢者の買物支援策として海陽町でもぜひ検討してほしい。

(2) 答申(案)について

事務局より、当日配布した答申(案)を用いて、概要について説明

委員 : この答申(案)でよいのでは。

答申及び行財政改革プランについては、議会の意見等を踏まえたうえで、委員長と事務局とで最終的な調整を行うこととした。

3. おわりに

委員 : 委員会形式ではなく、座談会であれば、固い議論だけにならずにより多様な意見が出たのではないかと感じた。

委員 : これまで企業経営の視点から意見を出してきた。従来通りではない、抜本的な行政改革を期待している。

委員 : 重要な改革プランの策定にあたり、住民が意見を出せる機会があるのは良かった。

委員 : 未来にわたって魅力的な海陽町にしてほしい。

委員 : 改革を支えるのは職員である。職員のみなさまには頑張ってほしい。

委員長 : 今、行財政改革にしっかりと取り組んでいかなければ、大変なことになる。将来の子どもたちのためにも町民・職員共同で行財政改革に取り組んでいただきたい。